

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和3年2月12日(2021.2.12)

【公開番号】特開2019-557(P2019-557A)

【公開日】平成31年1月10日(2019.1.10)

【年通号数】公開・登録公報2019-001

【出願番号】特願2017-120038(P2017-120038)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 Z

【手続補正書】

【提出日】令和3年1月4日(2021.1.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

所定の表示手段と、

遊技の進行を制御する主制御手段と、

演出を制御する副制御手段と

を備え、

前記主制御手段は、

抽選を行う抽選手段と、

演出グループ情報を導出するための特定テーブルと、

情報を記憶可能な記憶手段と

を備え、

前記抽選手段により決定され得る抽選結果として、第1抽選結果と第2抽選結果と第3抽選結果とを有し、

第1抽選結果が決定された遊技では、トップスイッチが第1の操作態様で操作された場合に遊技者にとって有利となる図柄組合せを停止表示可能であり、

第2抽選結果が決定された遊技では、トップスイッチが第2の操作態様で操作された場合に遊技者にとって有利となる図柄組合せを停止表示可能であり、

遊技区間として、通常区間と有利区間とを有し、

通常区間ににおいて第1抽選結果が決定された遊技では、特定のアドレスを基準アドレスとし、第1抽選結果に対応する情報をオフセット値として、前記特定テーブルから演出グループ情報を導出可能とし、導出した演出グループ情報を前記副制御手段へ送信可能に構成されており、

通常区間ににおいて第2抽選結果が決定された遊技では、前記特定のアドレスを基準アドレスとし、第2抽選結果に対応する情報をオフセット値として、前記特定テーブルから演出グループ情報を導出可能とし、導出した演出グループ情報を前記副制御手段へ送信可能に構成されており、

通常区間ににおいて第1抽選結果が決定された遊技で導出される演出グループ情報と、通常区間ににおいて第2抽選結果が決定された遊技で導出される演出グループ情報は、同一の情報であり、

通常区間ににおいて第1抽選結果が決定された遊技では、前記所定の表示手段によってス

トップスイッチの有利な操作態様を報知せず、

有利区間において第1抽選結果が決定された遊技では、前記所定の表示手段によってス
トップスイッチの有利な操作態様を報知する場合を有し、

第3抽選結果が決定され、特別図柄組合せが停止表示されなかった遊技の次遊技は、内
部中遊技状態の遊技であり、

有利区間における遊技の実行回数が所定回数となる遊技が実行されると、有利区間が終
了するように構成され、

有利区間における遊技の実行回数が所定回数となる遊技が内部中遊技状態で実行された
ときにも、有利区間が終了するよう構成され、

有利区間における遊技の実行回数が所定回数となる遊技が実行されると、前記記憶手段
に記憶されている所定の記憶領域の情報を初期化可能とし、

設定変更に伴い、前記記憶手段に記憶されている特定の記憶領域の情報を初期化可能と
し、

所定の記憶領域は、特定の記憶領域に含まれる記憶領域である
ことを特徴とする回胴式遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本態様に係る回胴式遊技機は、

所定の表示手段と、

遊技の進行を制御する主制御手段と、

演出を制御する副制御手段と

を備え、

前記主制御手段は、

抽選を行う抽選手段と、

演出グループ情報を導出するための特定テーブルと、

情報を記憶可能な記憶手段と

を備え、

前記抽選手段により決定され得る抽選結果として、第1抽選結果と第2抽選結果と第3
抽選結果とを有し、

第1抽選結果が決定された遊技では、トップスイッチが第1の操作態様で操作された
場合に遊技者にとって有利となる図柄組合せを停止表示可能であり、

第2抽選結果が決定された遊技では、トップスイッチが第2の操作態様で操作された
場合に遊技者にとって有利となる図柄組合せを停止表示可能であり、

遊技区間として、通常区間と有利区間とを有し、

通常区間において第1抽選結果が決定された遊技では、特定のアドレスを基準アドレス
とし、第1抽選結果に対応する情報をオフセット値として、前記特定テーブルから演出グ
ループ情報を導出可能とし、導出した演出グループ情報を前記副制御手段へ送信可能に構
成されており、

通常区間において第2抽選結果が決定された遊技では、前記特定のアドレスを基準アド
レスとし、第2抽選結果に対応する情報をオフセット値として、前記特定テーブルから演
出グループ情報を導出可能とし、導出した演出グループ情報を前記副制御手段へ送信可能
に構成されており、

通常区間において第1抽選結果が決定された遊技で導出される演出グループ情報と、通
常区間において第2抽選結果が決定された遊技で導出される演出グループ情報は、同一の
情報であり、

通常区間において第1抽選結果が決定された遊技では、前記所定の表示手段によってス

トップスイッチの有利な操作態様を報知せず、

有利区間において第1抽選結果が決定された遊技では、前記所定の表示手段によってス
トップスイッチの有利な操作態様を報知する場合を有し、

第3抽選結果が決定され、特別図柄組合せが停止表示されなかった遊技の次遊技は、内
部中遊技状態の遊技であり、

有利区間における遊技の実行回数が所定回数となる遊技が実行されると、有利区間が終
了するように構成され、

有利区間における遊技の実行回数が所定回数となる遊技が内部中遊技状態で実行された
ときにも、有利区間が終了するよう構成され、

有利区間における遊技の実行回数が所定回数となる遊技が実行されると、前記記憶手段
に記憶されている所定の記憶領域の情報を初期化可能とし、

設定変更に伴い、前記記憶手段に記憶されている特定の記憶領域の情報を初期化可能と
し、

所定の記憶領域は、特定の記憶領域に含まれる記憶領域である
ことを特徴とする回胴式遊技機である。

<付記>

尚、本態様とは異なる別態様について以下に列記しておくが、これらには何ら限定され
ることなく実施することが可能である。

本別態様に係る回胴式遊技機は、

少なくとも貸出された遊技価値数に対応する情報を記憶可能な持ち点情報記憶手段と、
リールの駆動状態を示すリール駆動状態情報記憶手段とを有し、

所定の条件を満たしたことに基づいて、前記リール駆動状態情報記憶手段は初期化する
が、前記持ち点情報記憶手段は初期化しない

ことを特徴とする。